

No. 691 (一九九八年一月一・一一日合併号)から

No. 723 (一九九八年一月二二日)まで

No. 691 (一九九八年一月一日・一一日合併号)

◇巻頭言◇ いつか誰が倒産・失業するかわからない年

山川均『社会主義への道』を読む

歴史の必然に確信をもつ

―ますます輝く『共産党宣言』―

「ぜったい負けへん、あきらめへん」

―職場復帰をもとめまもなく九年目の裁判闘争―

審議の在り方に大きな疑問

―労働法制の論議は国会へ―

「かれん誅求」の時代の始まり

―橋本「行革会議」と国民生活―

「漂流」を始めたユニオン連合

教えることは教わること

―運動前進のために何が必要か―

むしりとれ！ 勝利解決

読者からのおたより

編集部だより

国労名寄闘争団

No. 692 (一九九八年一月二二日)

◇巻頭言◇ ミサイル戦とゲリラ戦

―政治・労働運動、前進への課題―

一九九八年をどう闘うか

―労働運動の課題―

「ぜったい負けへん、あきらめへん」

―「恵泉寮」九年目のたたかい(下)―

新年の大きな任務とマルクス主義

新進党の分裂と六新党の動向

―小沢・自由党は孤立か―

読者からのおたより

編集部だより

鈴木 賢二

横堀 正一

西 直子

原 野人

政権研究班

No. 693 (一九九八年二月一日)

特集・国鉄闘争の現局面と課題

◇巻頭言◇ 闘争団員、家族が一丸となって

一九九八年度「帯広闘争団」の決意

国鉄闘争の決戦にあたって

法廷闘争の現局面と今後の闘い

勝利を手にする、斉藤英四郎を裁判へ

―解決交渉テーブルづくりでつばぜり合い―

六二名の仲間が国労に加入復帰

―九州車掌区協議会組拡運動―

読者からのおたより

国労帯広闘争団

弁護士

佐野 修吉
官里 邦雄
田島 省三

九州 太郎

上野 建一
近江谷 左馬之介
坂牛 哲郎

西 直子

三木 信之介

滝野 忠

伊勢 太郎
奥池 賢二

No. 694 (一九九八年二月一日)

◇巻頭言◇ 京都コンピュータ学院闘争に旧に倍するご支援を
春闘は 「第三期」へ移行

◇資料(日経連タイムズ『主張』

―『労問研報告』の理念貫け―

社民党はどこへ ゆく

―自民党支配の強化を助ける分散野党―

日本のシステムのあり方

県議会初十八万人署名で請願

―三五人学級めざし「県民の会」署名提出―

◇資料 声明文

◇新刊紹介『職場こそ戦場! 反独占・平和の闘い』

―岩井章さんの「主要論文・講演集」―

読者からのおたより

岩井さんを偲んで

―岩井さんの主要論文・講演集を読む―

岩井章さん追悼一周年記念集会に結集しよう!

―まともな労働運動前進めざし、新たな決意を固めよう!―

読者からのおたより

近江谷 左馬之介

園田 裕子
山田 宏二

政権研究班

月島 猫

No. 695 (一九九八年二月一日)

◇巻頭言◇ 全員のJR復帰は譲れぬ要求

―十一年間の闘いを集中して―

和断念、五ヶ月にも判決

―JR不採用訴訟で東京地裁が意見―

資料1 裁判所の見解(一九九八年二月二日)

―和解は断念、五ヶ月に判決

資料2 国労コメント(一九九八年二月二日)―

―JRに強く抗議―

資料3 JR北海道コメント(一九九八年二月二日)

―和解は拒否、判決を―

「解決委員会」を提起

―国労第一六九回中央委員会から―

歴史的転換の時代と労働運動

―最近の世界の労働運動と日本(二)―

NTT労働運動再生にむかって

―反合理化交流集会基調(上)―

職場で急速に進む効率化、合理化、人減らし

―「サービスアップ二〇〇〇」、七ケタ番号制―

郵便番号・七ケタ化七つの大罪

―何らメリットない七ケタ化―

すべての分野で硬直化、脱出口見いだせぬ現在のドイツ

―ドイツ民主共和国の思い出(上)―

読者からのおたより

編集部だより・

村田 雅威

滝野 忠

全電通反合研

No. 696 (一九九八年三月一日)

◇巻頭言◇秒読みに入ったイラク侵攻

―アメリカ帝国主義の「新宣言」―

一般労働組合労働者の地域でのたたかい

―全労協全国一般東京労働組合三多摩地域支部からの報告―

沖縄米軍基地撤去運動に立ち上がる

私ら犬ころではない

―沖縄・名護市長選激励に訪れて―

生かそう憲法 平和と福祉に ―三・七新社会党を励ます市民の集い―

NTT合理化の現状

―反合理化交流集会基調(中)―

今、古代史がおもしろい

あわや暴動寸前、駅長室にはカギ

読者からのおたよ

全電通反合研

滝野 忠

西村 昭

政権研究班

稲村 守

No. 697 (一九九八年三月一日)

◇巻頭言◇春闘の過去、現在、未来(上)

『判決言渡し』の流れをどう読むか

―国鉄闘争の現局面―

資料 国労コメント(一九九八年二月一日)

東京地裁民事一九部の決定について

変革の意志と情勢!

忘れ得ぬ人びと

―ドイツ民主共和国の思い出(下)―

私たちのこんにちの課題

―反合理化交流集会基調(下)―

滝野さん迎え地域で学習会

―身近な所で様々な語り合いを―

読者からのおたよ

編集部だより

全電通反合研

上野 建一

村田 雅威

滝野 忠

佐野 修吉

No. 698 (一九九八年三月二日)

◇巻頭言◇春闘―過去、現在、未来(下)―

広がる社会不安 政治不信

―地域・職場の闘いを繋ぎ反撃を―

岩井さんの遺志を現役が受けつぐ!

―「岩井章さん追悼・周年記念集会」聞く―

上杉鷹山の「藩政改革」

理念なき「離合集散」新党を斬る

アングロサクソン対大陸ヨーロッパ ―イラク問題の背景にみる世界の動き―

日本サッカー界の課題

―ワールドカップに出るけれど(上)―

たかが胸章、されど胸章 ―胸章着用の弁―

家庭に笑い声ともの生活を返して

―熊本闘争団家族の訴え―

栗原 幸子

上野 建一

野上 昭

滝野 忠

松枝 佳宏

吉原 節夫

No. 699 (一九九八年四月一日)

◇巻頭言◇ 大蔵対検察の「仁義なき闘い」
官僚国家日本の現状

日本発世界恐慌はないか

あふれる言葉、内容はこれから

―金融ビッグバンとは何か(一)―

資本主義社会の裏の部分

―中国社会の一断面

建設省に管理職ユニオン

二人のドンと連合事務局長

―社会経済生産性本部そして民間政治臨調―

資料 第一八回参議院選挙に対する連合の対応について(その3)

サッカーと帝国主義、愛国主義

―ワールドカップに出るけれど(中)―

読者からのおたより

伊勢 太郎
上野 建一
上野 義昭
編集 部

労働運動研究班

野上 昭

No. 700 (一九九八年四月一日)

◇巻頭言◇ 祝七〇〇号 田中想を欠くと透明人間になる

労働法制はどのように

変えられようとしているか

―その内容と問題点(上)―

私たちの職場と組織化の課題

外為法改正で生活はどうなる

―日本版金融ビッグバンとは何か(二)―

小さな根拠地を無数につくる

―九八春闘の教訓から―

自民党政府を支えているもの

読者からのおたより

樋口 俊士

日本労働弁護団

浅沼 与四郎
編集 部

労働運動研究団

上野 建一

No. 701 (一九九八年四月二一日)

◇巻頭言◇ 民主主義闘争のない社会主義はない

権力内部のキシミと我々の当面の課題

―現情勢をどうみる―

五月二八日に判決 ―東京地裁が国労に通知―

闘いは春の陣「本当の春」をつかみ取るぞ!

資料 国労旭川地本九八春闘総決起集会「抗議文」(一九九八・三・二二)

採用差別問題ふくめ抜本的解決を

労働法制は

どのように変えられようとしているか

―その内容と問題点(中)―

金融危機のさなか、二〇年おくれの金融自由化

―金融ビッグバンとは何か(三)―

読者からのおたより

日本労働弁護団

編集部

No. 702 (一九九八年五月一日)

◇巻頭言◇ 政治をインテリゲンチなインスタント商品にするな
橋本「教育改革」との対決を

今村 稔
横堀 正一

―教育危機の真因を隠蔽する「心の教育のあり方」論(上)

二一世紀の国際舞台はユーラシア大陸

若林 熙

―アメリカの世界戦略とグローバル化に踊る国際独占資本(上)

参院選前夜の政治状況

上野 建一

労働法制は

日本労働弁護団

どのように変えられようとしているか

―その内容と問題点(下)―

労働法制規制緩和反対で全国キャラバンはじまる

やったらやり返す労働者根性

―一週間に及ぶ電車区横断板掲出の取り組みを振り返って―

編集部

持株会社解禁とそのゆくえ

―日本版金融ビッグバンとは何か―(四)

『改悪NOI労働法制の規制緩和を許すな―労働基準法が大ピンチ』

読者からのおたより

No. 703 (一九九八年五月二一日)

◇巻頭言◇ 雇用拡大と労基法改悪反対の真の道

東京地裁中間判決をむかえるにあたって

今村 稔
山下 俊幸

アピール 新社会党須磨総支部全黨員集会

二%突破で、悲願の政党要件確保を!

―新社会党九八参院選の戦略・戦術について―

政治的安定をめざす自民・財界

上野 建一

P・M・スージーと現代資本主義論

若林 熙

―アメリカの世界戦略とグローバル化に踊る国際独占資本(下)―

メーデー三態

労基法改悪で国会審議始まる

労働運動研究班

読者からのおたより

No. 704 (一九九八年六月一日)

◇巻頭言◇ 世界大競争と自動車大戦争

まず実態を正確につかみ合おう

伊勢 太郎
自治体労働運動研究会

―自治体労働者運動の今日的課題(上)―

「改革」の現状と我々の教育要求

横堀 正一

―橋本「教育改革」との対決を(下)―

大量失業時代の始まり

労働運動研究班

労働運動再生への集いにご参加を!

―第五回地域労働運動全国交流集会―

読者からのおたより

No. 705 (一九九八年六月一日)

◇巻頭言◇ 第二段階に入った国鉄闘争

- 資料1 不当きわまりない判決(国労・同弁護士・中央共闘の声明)
- 資料2 「判決」を新たな闘いの出発点に(国労コメント)
- 資料3 不当労働行為の責任は「国鉄」(民事一部「判決理由要旨」)
- 資料4 誠に遺憾、今後の対応を検討(中労委会長談話)
- 資料5 東京地裁の関係者の努力に敬意(JR北海道会社談話)
- 資料6 国労の運動方針転換を期待(JR西会社談話(要旨))
- 資料7 判決契機に早期解決を期待(労働大臣談話)
- 資料8 勝利めざし、ひるむことなくたたかう(新社会党「声明」)
- 資料9 解決のための話し合いに入れ(社民党幹事長 伊藤 茂)
- 資料10 判決契機に解決はかれ(民主党幹事長 羽田 孜)
- 資料11 国労は路線転換はかれ(「東京地裁判決」に対するJR連合の見解)
- 資料12 判決は遺憾、中労委は強い態度で対処を(中労委委員 嶋田 一夫)
- 資料13 不当労働行為の責任、宙に(『朝日新聞』解説、五月二十八日夕刊)
- 資料14 一日も早い職場復帰と不当労働行為の根絶を(全労協・声明)
- 資料15 政府、JRが責任をもって解決を(全労連事務局長 熊谷 金道)
- 資料16 明日からまたがんばりましょう(お父さんへ)
- 資料17 運輸大臣、和解促す(『日経新聞』、五月二十九日夕刊)
- アメリカンバブル「崩壊」に危機感 ―日経連総会で会長が言及―
- 世界をゆさぶるアジア ―金融危機、政治危機、核実験―
- 『科学的社会主義』誌の発刊―「再建・社会主義協会」が発発・進行
- 読者からのおたより 編集部だより

No. 706 (一九九八年六月二一日)

◇巻頭言◇ 活動家は直ちに立上り、行動を起こそう

「共産党宣言」と現代

秋葉さん、それはないよ

―あなたは自民党のお小姓さん?―

五・二八東京地裁不当判決

―不当労働行為責任は政府・JRにあり!―

「権力」に屈服した司法、東京地裁民事十一・十九部

反動判決を乗り越え微動だにしない闘争体制を

家族の明るさが救い

―不屈の気構えでJR、政府に迫る―

参院選は勝たねばならない

企業内の労働運動の克服

―自治体労働者運動の今日的課題(下)―

ジャマイカの悩み

―ワールドカップ・フランス大会寸評(二)―

読者からのおたより

浜田 嘉彦

近江谷 左馬之介

労働運動研究班

国労音威子府闘争団

国労博多闘争団

国労名古屋闘争団

政権研究班

自治体労働運動研究会

野上 昭

No. 707 (一九九八年六月二一日)

◇巻頭言◇ 深まる世界経済の危機

虎の尾を避けて

―大資本に見る障害者就労の現実(上)―

参院選を迎えた各政党の思惑

離合集散する政界と労働運動

―若者たちの政治論議―

現代労働者意識の劇的变化

―総理府「世論調査」を中心に

国労・中労委が控訴へ

―支援から連帯・共闘の輪をつくる―

人間らしいすばらしさ

―国鉄闘争十二年のたたかいから―

読者からのおたより

伊勢 太郎
町田 一男

政権研究班

労働運動研究班

赤峰 正俊

No. 708 (一九九八年七月二一日)

◇巻頭言◇ 夫たちの地元JR復帰こそ解決の条件

参院選勝利が大田知事三選の第一歩

―新社会党推薦の島袋候補陣営燃える―

虎の尾を避けて

―大資本に見る障害者就労の現実(下)―

ローザ・ルクセンブルグ／ベルンシュタイン論争から百年

―ローザ・ルクセンブルグ、シカゴ会議での挨拶と問題提起―

「弁証法」の駆使!

―いまなぜ、ローザか?― 第九回国際交流参加―

「五・二八判決」は司法の自殺

―雨の中、国労支援の地域集会―

読者からのおたより

千葉 真貴子

上野 建一

町田 一男

伊藤 成彦

佐々木 守雄

佐野 周二

No. 709 (一九九八年七月二一日)

◇巻頭言◇ 職場の搾取―現代と「宣言」の時代

参院選のゆくえを占う

「五・二八判決」と新たな段階での国鉄闘争

―原則をふまえたたかえ―

今、ソニーの職場では

―史上最高益をだしている職場の中で―

高齢者いじめの介護保険制度

マルクスとヘルダーリン

読者からのおたより

浦田 秀夫

東 健治

山下 俊幸

編集部だより

No. 710 (一九九八年八月一日)

◇巻頭言◇ 自民党支持基盤崩壊の地鳴り 参院選——一九八九年と一九九八年

参院選「激変」の構図

参院選結果と労組

参院選の背後で

◇組合大会の特徴を語る(上)◇ 労働運動の弱点にメス入れよ

産別としての労使関係をとれどそう

——私鉄総連 一九九八年度運動方針批判——

不当判決をはねのけて闘います——決意を語る国労闘争団ニュースから——

法の番人

『人事交流』の全国展開を図る郵政省

◇資料 全通神奈川地区本部委員長・支部長一同◇

人事交流(異動)に対する申入れと意見書

郵便番号七ケタ制の「政治・経済学」——郵便制度の大失態、大改悪——

世界各地でストライキの動き

読者からのおたより

No. 711 (一九九八年八月二日)

◇巻頭言◇ 能力主義・成績主義批判の総学習運動を

小渕自民党内閣はどこまでもつか

翼折れても——参院選結果を考える——

全労協、国労闘争団を軸に新布陣

——「第一〇回大会」新議長に藤崎良三氏——

◇組合大会の特徴を語る(中)◇ 能力主義・成果主義が主流に

W杯に出たけれど・フランス大会総決算

読者からのおたより

津和 崇

上野 建一

吉原 節夫

野上 昭

No. 712 (一九九八年九月一日)

◇巻頭言◇ マルクス経済学の基礎学習拡大のすすめ

現代の資本主義と労働運動

——『共産党宣言』と現代を読む——

チェ・ゲバラとジョージ・ソロス

日本はもつと援助を

——朝鮮民主主義人民共和国の旅(上)——

経済効果は千八百億円?

——日本サッカーと日本の経営——

◇組合大会の特徴を語る(下)◇

職場にはウメキと悲鳴 職場の声「結集」が課題

◇資料 第一八回参院選のまとめ——今後の課題と方向(連合)

民主党は「新しい政治勢力結集の基軸」

◇資料 全労連大会で「緊急雇用対策案」を承認

九百万人の雇用拡大を

読者からのおたより

津和 崇

横堀 正一

滝野 忠

上野 建一

野上 昭

編集部

編集部だより

No. 713 (一九九八年九月二一日)

◇巻頭言◇ 不飲酒戒

「改革法承認」は継続討議

佐久間 誠
労働運動研究班

―「路線転換」との発言続出の国労大会―

◇資料1 国労委員長あいさつ 全面解決交渉に無条件で応じよ

◇資料2 方針(案)の補強(国労大会) 解決局面から解決へ

資料3 国鉄闘争に連帯する会「アピール」(一九九八年八月二十一日)

学者一三〇人が国鉄闘争に連帯

政府・JR会社は俺たちを職場に戻せ ―北海道闘争団連絡会議の訴え―

建国五〇周年の共和国

上野 建一

―朝鮮民主主義人民共和国の旅(中)―

読者からのおたより

No. 714 (一九九八年九月二一日)

◇巻頭言◇ 毎日が読書、一日一生

民間政治臨調・大企業の味方

三浦 輝雄
労働運動研究班

―「民主党」の研究―

国鉄とJRは一体

弁護士 加藤 晋介

―当たり前の事実から反撃しよう―

敵視政策をやめて友好交流を広げよう

上野 建一

―朝鮮民主主義人民共和国の旅(下)―

初めて自治労全国大会で発言

―労働法制改悪反対の地域共闘運動を報告―

大恐慌型不況としての対策を

読者からのおたより

No. 715 (一九九八年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 旧社会党の愚をくり返す民主、連合

保守(コール)か社民(シュレーダー)か

伊勢 太郎
月島 猫

―ドイツ総選挙とその背景―

冷戦構造的思考の残る北東アジアと日本の対応

富山 栄子

―「仮想敵国」の想定のもつ危険―

資料① 朝鮮中央通信(九八年九月四日) ミサイルは人工衛星の打ち上げ

日本経済に鋭い危機感 労働運動研究班

―日経連「軽井沢セミナー」から―

資料② 21世紀型の運動展開―これからの連合がめざすもの―

連合事務局長笹森清氏講演要旨

ふだんの日常活動が勝利の力 ―千葉・野田市議選の中から―

◇書評◇岡崎ひろみ著『国会に窓はない』 土井たか子さんへの決別宣言

資料③ 新社会党第三回定期全国大会大会宣言(一九九八年九月六日) ◇

新たな出発めざす

読者からのおたより

編集部だより

No. 716 (一九九八年一月一日)

◇巻頭言◇『新社会党ごっこ』と読書のすすめ

宮沢税制改革案のまやかし

バブルにまみれ、転換期逃した ―長銀、半世紀の歴史に幕―

◇労働組合大会の特徴を語る(総括編(上))◇

連合労働運動の本質語る「笹森発言」

必ず再び闘うに違いない

読者からのおたより

No. 717 (一九九八年一月二日)

◇巻頭言◇負けない体制から勝ちの運動を

―国鉄闘争を全労働者の闘いへ―

世界恐慌への危機感をもつアメリカ

大恐慌への引き金ひいた長銀処理

―税金投入で解決めざしたけれど―

今、国労に問われていること

―「補強案」をめぐる―

資料 国労高崎地本「意見書」(一九九八・九・一)

補強案五項目の全面白紙撤回を

また一人、戦後労働運動の顔が：

二一世紀への「歴史的実験」の始まり

―ドイツ社民党政権へ―

わが国労働者の権利と生活に重大な被害

―労働者派遣事業制度の見直しについての意見書(二)―

読者からのおたより

国労音威子府闘争団

上野 建一

滝野 忠

園内 勝

伊勢 太郎

日本労働弁護団

No. 718 (一九九八年一月一日)

◇巻頭言◇権力に深刻な危機

現情勢の特徴について

国民に犠牲転嫁

―資本主義は自動的に崩壊しない―

◇労働組合大会の特徴―総括編(中)◇

方向示せぬ全労連

資料 『日経連タイムス』主張(一九九八年九月二四日)

新展開する労働運動

『ダスヴィダーニャ』山田宏二さん

世の中が病気になるってないか

―病を癒す力を生み出すために―

労働者派遣事業の内外の実態

―労働者派遣事業制度の見直しについての意見書(二)―

読者からのおたより

筆塚 真理子

小西 純一郎

日本労働弁護団

井上 公一

上野 建一

編集部

No. 719 (一九九八年一月一日)

◇巻頭言◇ イタリアに元共産党首相
政治論議の背後で現場労働者にウメキ

伊勢 太郎
松枝 佳宏

―自治労別府大会から考える(上)―

世界資本主義システムを揺り動かす投機集団

―マネー経済が実体経済の十一倍余に―
重要な局面を統一と団結でたたかひぬこう

闘争団北海道連絡会議

―私たち北海道国労闘争団は訴えます―

労働者派遣事業の内外の実態

日本労働弁護団

―労働者派遣事業制度の見直しについての意見書(三)―

読者からのおたより

手作り無添加の音威子府みそがうまいよ!

No. 720 (一九九八年一月二日)

◇巻頭言◇まだまだがんばれる、頑張るぞ
山形の皆さん、ありがとう

杉山 智子

大転換、大競争のなかで:

松枝 佳宏

―自治労別府大会から考える―

鼎談 勲章や政治連合のこと

政権研究班

六十兆円の「公的資金」のぶんどり合戦がはじまった

編集部

介護保険 学習と行動を

三多摩医療生協

派遣労働の本質は労働者レンタル制

日本労働弁護団

―労働者派遣法の「改正」案に反対する労働弁護団アッピール―

住民投票条例が市議会に上程

―住民投票議員団結成(神戸市議会)にあたっての声明―

日程に上った春闘の終焉

読者からのおたより

No. 721 (一九九八年二月一日)

◇巻頭言◇沖縄知事選結果と自・自連合

上野 建一

国鉄「民営化」でなぜ銀行の「国営化」?

滝野 忠

―ふくらみつづける国の借金―

現代資本主義と「大恐慌」の可能性

滝野 忠

―「マネー経済」(信用制度)を中心に(一)―

歴史認識の確立と友好親善活動の強化を

横堀 正一

―千葉県朝鮮総聯総役員虐殺放火事件が示すもの―

パンフ『俺たちを職場に戻せ』ご購入のお願い

◇労働組合大会の特徴―総括編(下)◇

編集部

労働運動強化の課題

国鉄マンの伝説よ、雪のように輝いてあれ

佐野 周二

―「連帯する会」呼びかけ人・山田洋次監督が激励―

“変節”は罪である

読者からのおたより

No. 722 (一九九八年二月一日)

◇巻頭言◇中教審路線と労働者

ドイツ新政権の挑戦

月島 猫

―失業問題は克服できるか―

個別賃金要求前面に、平均方式は消滅

―連合第二三回中央委員会報告―

◇労働組合大会の特徴―総括編(下)◇

編集部

労働運動強化の課題

営業に配転されたけど負けないぞ

上野 建一

―「自・自」は改憲政治の第一歩か―

不採用問題、全組合員の意志と組織の総団結で早期解決めざす

―国労が中央闘争委員会アピールを採択―

◇資料 第一〇回中央闘争委員会アピール

読者からのおたより

No. 723 (一九九八年二月二日)

◇巻頭言◇ 考えていただきたいこと

原 野人

獲得目標を明らかに

私鉄反合理化研究会

―私鉄労働運動の課題―

滝野 忠

「マネー経済」は「実体経済」の五〇倍余

―現代資本主義と大恐慌の可能性(下)―

成績主義黒書

―成績主義白書に対する六つの「?」―

政権研究班

経済不況で「英雄待望論」も

―自・自連立の危険性―

野上 昭

リストラの波はＪリーグにも

全日空に三十六万余の署名

Ｊリーグ「横浜フリューゲルス」存続支持する特別決議(東京管理職ユニオン)―

読者からのおたより